

事業名 (事業計画実施年度)	育英奨学事業	
主管課及び 関係課 (課長名)	(主管課) 高等教育局学生課 (課長: 戸渡速志)	
上位施策目標	施策目標 3 - 3 意欲ある学生への支援体制の整備	
事業の概要	<p>育英奨学事業は、「優れた学生及び生徒であって、経済的理由により修学に困難があるものに対し、学資の貸与等を行うことにより、国家及び社会に有為な人材の育成に資するとともに、教育の機会均等に寄与すること」(日本育英会法第1条)を目的とするものである。</p> <p>昭和18年の事業開始以来、60年間で約676万人の学生・生徒に対して、約5兆5,438億円の奨学金を貸与したところであり、学生等が経済的な面で心配することなく、安心して学ぶための支援として重要な役割を果たしている。</p>	
予算総額及び 事業開始年度	<p>平成16年度概算要求額: 684,238百万円 (平成15年度予算額579,008百万円)(事業費)</p> <p>総額: 6,122,810百万円(事業費、平成14年度までは実績)</p> <p>事業開始年度: 昭和18年</p>	
得られた効果 (波及効果を含む)	<p>平成14年度においては、当初予算で無利子・有利子合わせて奨学金の充実を図るとともに、有利子奨学金の希望者数の増加を踏まえた補正予算を措置することにより、79万2千人の学生・生徒に対して、522,512百万円の奨学金を貸与し、貸与基準を満たす希望者ほぼ全員を採用することができた。</p> <p>これらにより、学生の修学機会の確保とともに、アルバイトに従事する時間等の抑制につながり、経済的な面で心配することなく、少しでも勉学に専念できる環境を整える効果が得られたものと考えられる。</p> <p>また、収入が減少傾向となる経済状況下において、家計に対しては、親等の教育費負担の軽減が図られることで、学生を持つ家庭の消費の維持・拡大に貢献したものと考えられる。</p>	<p>事前の評価において期待された効果</p> <p>教育を受ける意欲と能力のある者には確実にこれを受けられるよう奨学金の充実を図る。</p>
得ようとした 効果と得られ た効果との比 較・検討	<p>平成14年度においては、79万2千人の学生・生徒に対して、522,512百万円の奨学金を貸与しており、前年度に比べて、貸与人員は4万人増員し、貸与総額は42,809百万円増額しており、教育を受ける意欲と能力のある者で、奨学金を希望する学生をより多く採用することができた。</p>	
検証結果	想定どおりの効果が得られた	
今後の政策への 反映方針 (継続の適否、 改善点を含む)	<p>学生が経済的な面で心配することなく、安心して学べるよう、奨学金を希望する学生支援のため、引き続き、奨学金の充実が必要である。</p> <p>平成15年度予算においては、無利子・有利子ともに貸与人員を増員するとともに、無利子では貸与月額を大学等で2千円増額し、有利子では入学時の需要に対応した奨学金(30万円の一時的金)の創設により、事業全体で、対前年度比6万8千人増の86万6千人の学生・生徒に対し、62,356百万円増の579,008百万円の奨学金を貸与することとする。</p> <p>また、平成16年度には、日本育英会を廃止して、独立行政法人日本学生支援機構に奨学金事業を移行させることとし、第156回通常国会に法案を提出したところである。この新法人においても、無利子及び有利子の奨学金事業を充実し、継続する必要がある。</p>	

# 奨学金事業の充実



## 施策目標 3-3 意欲ある学生への支援体制の整備

よつ、奨学金の充実が必要  
○学生が経済的な面で心配することなく安心して学べる  
○昨今の長引く景気低迷により、奨学金のニーズが高まる

達成目標 3-3-1  
学生が経済的な面で心配することなく安心して学べるよう基準適格申請者に対する貸与率を改善。

達成目標 3-3-2  
奨学金を希望する者がより多くこれを受けられるよう貸与人員を増員。

達成目標 3-3-4  
奨学金事業の原資となる奨学生からの返還金を確実に回収するため、口座振替制度(リレー口座)への加入率を改善。

達成目標 3-3-3  
学生生活費等の動向を踏まえ、学生が安心して学べるよう適切な貸与月額を設定。

達成目標 3-3-5  
奨学金希望者及び大学等担当者の利便性の向上及び処理の迅速化等のための申請手続の電子化による効率化。

量的充実(希望者全員への貸与)  
奨学金希望者のニーズに応えるための

期待に応えるための質的充実  
奨学金を必要とする学生の

○学生のニーズや社会的要請に適切に対応しつつ  
教育の機会均等と創造性豊かな人材育成への寄与

# 人材大国の実現

